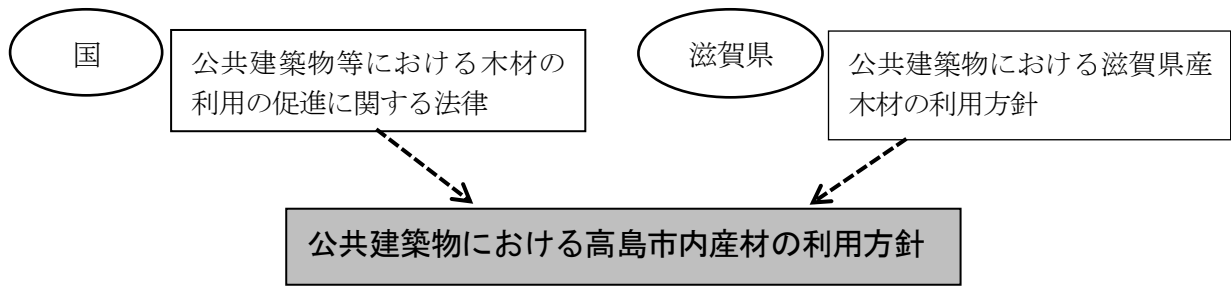


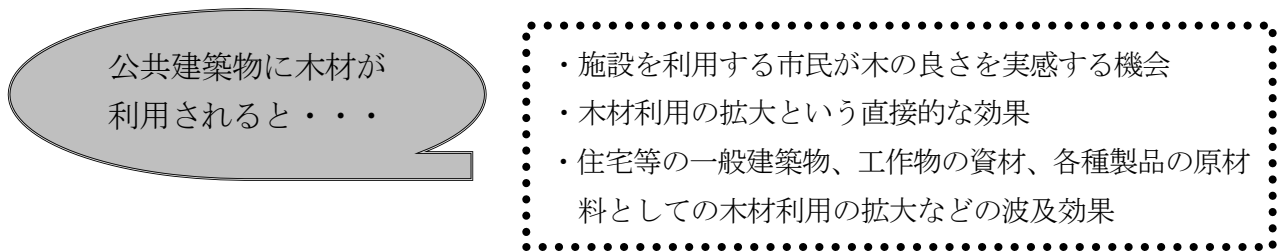
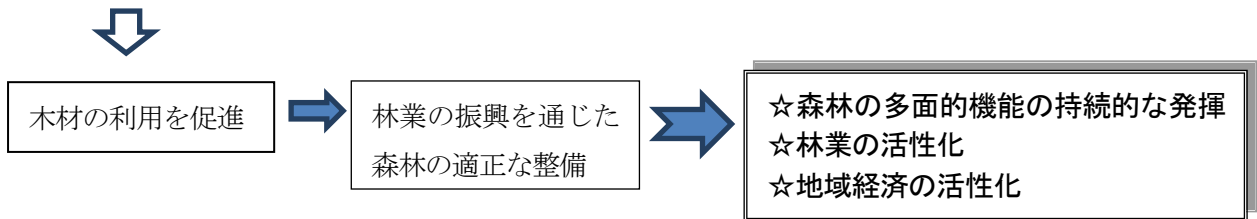
公共建築物における高島市内産材の利用方針



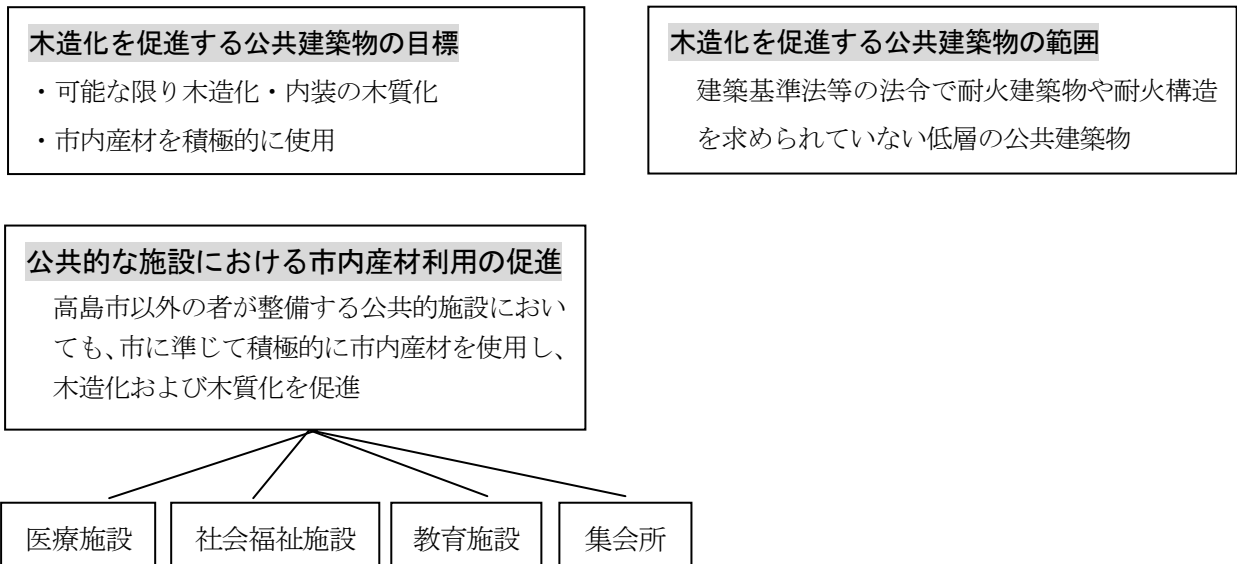
■公共建築物における木材の利用促進の意義および効果

高島市の森林の現状

- ・戦後植林された人工林が、利用可能な段階を迎えている。
- ・木材価格の低迷等により生産活動は停滞し、水源のかん養、山地災害の防止、林産物の供給などの森林の多面的機能の低下が懸念される状況になっている。

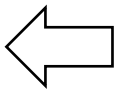


■木材の利用促進のための基本的事項



木造建築物以外への市内産材の利用促進

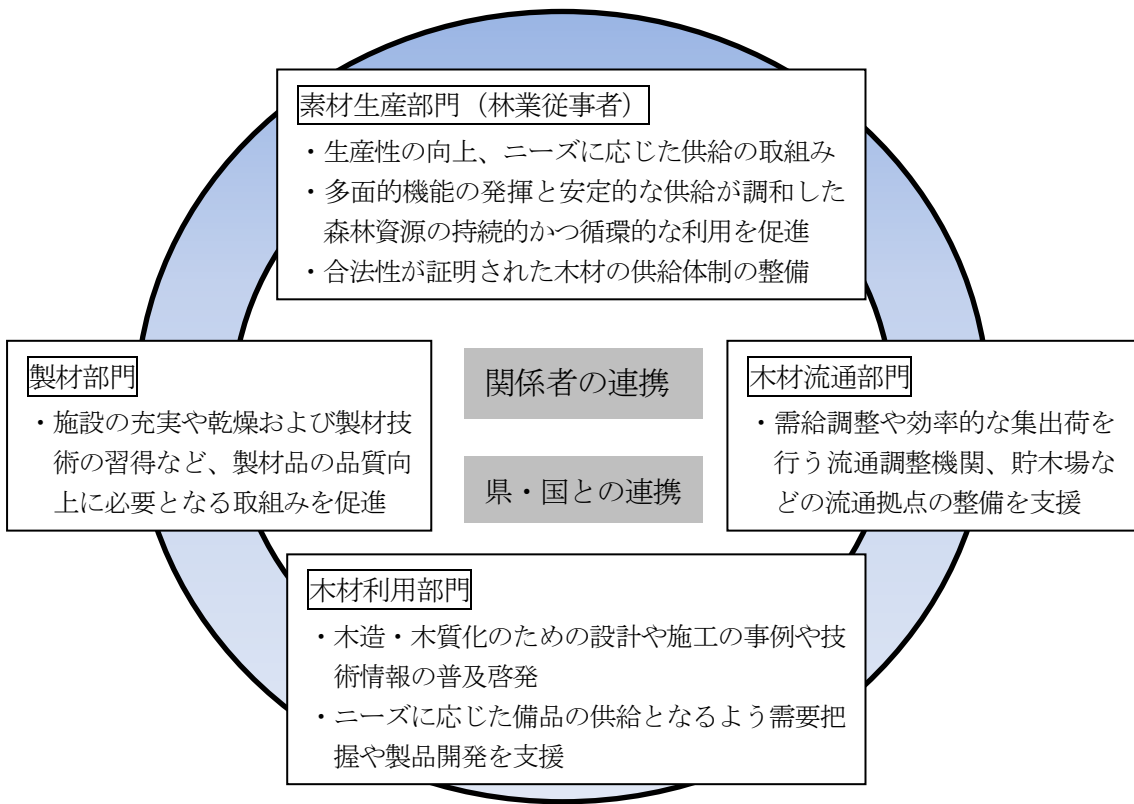
- ・ 木造化が困難と判断される建築物
⇒内装等の木質化を促進
- ・ 公共建築物で使用される机等の備品
⇒市内産材を原材料として使用
- ・ 土木工事の資材や公共施設の工作物
⇒市内産材を利用
- ・ 暖房器具やボイラー等
⇒木質バイオマスを燃料とする器具を検討



木造化等において考慮すべき事項

- ・ 計画の段階から、建設、維持管理、解体・廃棄等のコスト検討したうえで利用
- ・ 備品は、購入コスト、耐久性等と市内産材の利用促進の意義を鑑み、総合的に判断

■ 市内産材の適切な供給の確保



■ 普及啓発

木造化および木質化した施設の管理者は、来訪者に木の温もりや香りなど木の良さ等の普及啓発に努める。

■ 市内産材の利用促進のための体制の整備

高島市の各部局間の円滑な連絡調整、公共建築物における市内産材の利用の促進に向けた検討



高島市市内産材利用推進連絡会議